

令和6年度

学 校 評 価 表(案)

(中間評価・最終評価)

東広島市立もみじ小学校 ・もみじ中学校

学校教育目標			自らを律し、自ら行動する人間の育成 ～ 自律と自立 ～				経営理念			「育ち直し」「学び直し」の理念のもと、児童生徒の自律・自立を支援する。 ～ この学校で学んでよかったと思える学校づくり ～ 『生きる力』『自己指導能力』『学ぶ力』の育成・生徒指導の実践上の4つの視点に留意した生徒指導と学習指導の推進」			
--------	--	--	--------------------------------	--	--	--	------	--	--	---	--	--	--

評価計画							自己評価					学校関係者評価		改善方策
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	達成値		達成度	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	改善方策
							7月	12月						
学習指導	1	確かな学力の定着	わかる授業づくりの推進 【共感的な人間関係の育成】 【自己存在感の感受】	・単元構成を含むUDを取り入れた授業の徹底 ・一人一人の実態に応じた学び直しの充実	・児童生徒の意識調査「この教科の授業はよくわかります」の肯定的評価の割合 ・児童生徒の意識調査「授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていた」の肯定的評価の割合	90%以上 90%以上	89.0% 82.9%	77% 78%	86% 87%	2	・年度途中入所した児童生徒や特定の生徒の回答数値が低い傾向にあり、7月に比べて肯定的割合は下がっている。 ・入所時における学習到達度の個人差を踏まえた一人一人の実態に応じた細かな個別最適な学びが十分とはいえない結果と受け止める。 ・児童生徒が分かったと感じることのできるUD(視覚化、焦点化、共有化)を取り入れた授業づくりに重点をおいて、ベテラン・中堅・若手のユニット型部会での協議を共有している。引き続き取組みを推進していく。	B	・肯定的評価が下がったのは、先生方の指導を受け指導が届いているからこそ、客観的に自身の学力を認識することができた。そのため前期よりも自分自身に厳しい自己評価を行ったと考えられるのではないかと。個々に応じた指導が浸透しているとも見てとれるのではないだろうか。	○入所テスト(国・数・英)や単元テスト等を元に随時、学習到達度の把握を行い、個別最適な学びとなるよう、教え方、教材、時間配分等を工夫しUD(視覚化、焦点化、共有化)と生徒指導の4つの視点を取り入れた授業展開を充実させる。資質能力向上のためにベテラン・中堅・若手のユニット型部会で授業研究を行い、わかる授業の創造に組織で継続して取り組んでいく。
			自主的・主体的な学習態度の育成 【自己決定の場の提供】	・課題提示の充実 ・探究学習での取組内容の明確化 ・自分の考えを持ち深め発表する場の設定	・児童生徒の意識調査「学校で宿題が出されたら忘れずに行います」の肯定的評価の割合 ・「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表した」の肯定的評価の割合	90%以上 85%以上	92.4% 65.8%	85% 68%	94% 80%	3	・年度途中入所した児童生徒や特定の生徒の回答数値が低い傾向にあり、7月に比べて肯定的割合は改善されていない。 ・児童生徒は期限を守って宿題を提出しようとはしている。個の実態に応じた学習内容とすることで意欲を維持し力が付くよう評価しながら、成功体験を積み重ねさせていく。 ・各授業の中で、発言・自己決定できる場を意図的に設定しながら、相手意識を持った発表を積み重ねさせられるよう継続指導していく。	B	・個々の実態を踏まえた課題設定を行うことにより、児童生徒の達成感の向上を図り、やる気を喚起させる取組をこれからも継続してください。	○引き続き、児童生徒個々の実態に応じた課題を準備し取り組ませること、成功体験を積み重ね、学習意欲の向上を図る。 ○授業において、共感的な人間関係の育成のもと、自己決定できる場面を設定し自己表現する機会を意図的に設けることで相手を意識した伝え方を身に付けさせる。
生徒指導	2	社会に通用する生徒の育成	生徒理解に基づく指導の充実 【共感的な人間関係の育成】 【自己決定の場の提供】	・学園との連携による人間関係能力向上に係る共感的な指導の充実 ・合意形成に基づく生徒指導の推進	・児童生徒の意識調査「周りへの感謝と思いやりの心をもって生活できるようになった」の肯定的評価の割合 ・児童生徒の意識調査で「自分にも他人にも良い行動を考えている」の肯定的評価の割合	90%以上 90%以上	100% 84.6%	100% 93.8%	111% 104%	4	・生活の場面では必ずしも自己評価通りではない行動がみられる。自己評価ではあるが子ども達は意識して生活をしている。また、個人評価として以前の自分よりも周囲への感謝ができるようになったことから肯定的評価へと繋がっていると考えられる。これからも継続して指導していく。 ・子ども達にとって人とかかわりは大きな課題である。道徳の授業で考えたことを日常の生活で実践できるように指導していく。	A	・今後も学園職員と教職員の連携を密に行い児童生徒に寄り添った支援を行っていたとき、周りへの感謝と思いやりの心をもって生活し、自分にも他人にも良い行動を考え行うことができるように育成を継続してください。	○継続して取組む。
			部活動の充実 【自己存在感の感受】	・全職員で見守る指導 ・広島学園との連携による協働的な指導	・児童生徒の意識調査「部活動では達成感があつた」の肯定的評価の割合 ・平日の部活動への複数の教員参加率	90%以上 90%以上	92.3% 100%	100% 100%	108% 111%	4	・後期の部活動は陸上競技の長距離走に取り組んでいる。前期の野球やバレーボールに比べ、必ずしも楽しい活動だけではないが逃げずに取り組んだことで自己肯定感を向上させ、肯定的評価につながったと思われる。 ・3年生の補充学習が始まってからは、中学校の教員が複数体制で指導できないこともあったが、曜日ごとに部活動担当(優先者)を決め、広島学園との連携で複数で指導することができている。	A	・特になし	○継続して取組む。
信頼される学校	3	関係機関から信頼される教育活動の充実	広島学園職員から信頼される教育活動の推進	・一人一人の課題やニーズに応じた教育活動の充実 ・年度当初のルール確認を学園、もみじで合同実施 ・管理職を含めた職員間の対話の充実	・学園職員の意識調査「授業は一人一人に合った教え方、教材、学習時間になっていた」の肯定的評価の割合 ・学園職員の意識調査「児童生徒は学校へ行くことを楽しみにしている」の肯定的評価の割合	90%以上 90%以上	80% 100%	95.5% 100%	106.1% 111.1%	4	・宿題の課し方や授業についていただいたご意見を真摯に受け止め改善に努め、個に応じた課題設定や、授業展開の工夫を行ってきた。引き続き児童生徒一人一人のニーズに応じた教育活動となるよう校内研修の成果を活かし実態把握を継続して常に改善を図っていく。 ・本校における児童生徒の実態を踏まえ、肯定的な評価を頂いた。引き続き個別最適な学びの場を提供することで信頼される教育活動を充実させていく。	A	・中期経営目標の「関係機関」には「広島学園」を始めとして福祉関係機関や地域団体も加味して連携・活用していただきたい。 ・他者評価を目標値に利用すると厳しい意見もあるが身近で評価をいただけることは有難いことで、真摯に受け止め改善に活かしてください。	○次年度も引き続き、福祉関係については社会福祉協議会の支援を受けた取組継続する。また、地域と連携した活動の創造に取組む。 ○広島学園職員から信頼される教育活動となるように引き続き意識調査結果を元に組織で改善に取組む。
業務改善や働き方	4	効果的な教育活動の充実	勤務時間を意識した働き方の浸透	・業務の役割分担の見直しと適正化	・勤務時間外の在校時間が月45時間・年間360時間未満の割合 ・教職員アンケート「学校は働きがいがある」の肯定的評価の割合	95%以上 95%以上	100% 100%	83% 100%	87.4% 105.3%	3	・今年度は、授業時数を精査し子どもと向き合う時間(授業準備等)を増やす措置を行った。その中で個別最適な学びの実現のために、個に応じた課題設定や授業展開のための諸準備が必要となり、勤務時間外の在校時間が月45時間を超える教職員が常態化している。分業を推進し、業務改善を図る。 ・学校教育目標の具現化に向けて、チームとして児童生徒の教育活動に継続して携わり、教師としての自己肯定感を高めていく。	B	・個別最適な学びを実現するために、教材・教具の準備等に時間をかけていただきたがとうございます。小中学校教員が連携・協働して教育活動に当たり、教材等の準備時間を生み出すなど働き方改革を引き続き進めてください。また、時間外勤務をする場合は、管理職へ自己申告するなどの手立てを講じるのも効果があるのではないのでしょうか。	○次年度も、授業時数の精査・適正管理を行い、子どもと向き合う時間の確保に努め、個別最適な学びの実現に向けての諸準備等を組織で行うなど業務改善を図る。作成した教材・教具等のデータの共有化を図り、各学年・各教科の財産として残し有効活用する。

※目標の精選と重点化を行い、重点の項に「1」「2」「3」で表示する。

■自己評価

4 ...目標を上回って達成

2 ...目標をやや下回って達成

3 ...目標どおりに達成

1 ...目標をかなり下回って達

■学校関係者評価

A ...とても適切である

C ...あまり適切でない

B ...概ね適切である

D ...全く適切でない